



## 卒業おめでとう！

部活動の仲間たち

石見中学校 卒業生

3月  
定例会  
特集

注目の  
今月の

- |           |     |
|-----------|-----|
| 令和8年度当初予算 | (2) |
| 物価高騰対策    | (4) |

令和8年度  
当初予算

# 3月定例会

## 「住み心地の良いまち」へ

### 一般会計当初予算 135億5800万円

3月定例会を3月3日から3月17日までの15日間の会期で開催しました。令和8年度当初予算をはじめ、町長提出議案65件、陳情1件、請願2件、発委3件、発議1件を審議し、採決しました。

陳情、請願は5ページを参照ください。発委は、邑南町議会の議員報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正と、付託を受けた2件の請願を各委員会で審議し国への意見書の提出です。発議は、竹島の領有権の早期確立に関する取組みの強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出です。

### 予算特別委員会

令和8年度当初予算審査を行うため、予算特別委員会を初めて設置しました。

3月3日に開催された本会議で11名の委員を議長が指名し、その後、互選により委員長は平野一成委員、副委員長に野田佳文委員に決まりました。

同日の本会議において予算特別委員会に付託された議案第46号から52号までを、3月4日から11日にわたって審査し、3月16日に全議案可決の報告を行いました。

併せて、次の3点の意見を付しました。

- ① 財政調整基金は、適切な額を保ち緊急事態にも備え計画的な運営に努めること。
- ② 物価高騰対応重点支援臨時交付金は、令和8年度内に確実に執行するよう、適切に実施すること。
- ③ 予算審査を行う際の説明資料を、早い時期に示すこと。

### 予算編成重点項目

令和8年度一般会計予算は「住み心地の良いまち」

を目指し、人とひとの関わりによる協働のまちづくりを進めるための創造的チャレンジ」をテーマとして、次の6つの重点項目を掲げて編成されています。

- ① 人口減少に対応したまちづくり（ささやかな合理的配慮と一定の町民の負担のあり方）
- ② 町の方向性の決定と積極的な情報発信
- ③ 町内経済循環と事業者応援による民間投資の推進
- ④ 農業・農村における地域課題の確実な解決
- ⑤ 教育環境の充実
- ⑥ 国民スポーツ大会への対応強化

### 多額の基金繰入

前年度より0.8%の1億500万円の減額で予算が計上されましたが、財政調整基金繰入金が前年度より3億円以上多い7億7094万円計上されています。

昨年と同様に賃上げによる人件費の大幅な増加、物



価高騰、邑智郡公立病院組合や江津邑智消防組合、邑智郡総合事務組合の負担金の増額、地方債残高の増加、金利上昇などが影響したものです。

# 主要施策

邑南町第3次総合振興計画が策定され、これから10年間のまちづくり理念「地域とつながり、挑戦を育む町」が掲げられました。

子育て応援対策では、「保育料完全無償化」や「こども誰でも通園制度」の実施、農業振興では「農作物の暑さ対策支援」、共生社会に向け「補聴器購入助成」などがあります。国民スポーツ大会に向けて、いわみスタジアムと瑞穂球場の改修整備が始まります。

新しく犯罪被害者等支援が始まり、安心して暮らせる地域社会の実現に向け条例制定、各種施策が今後検討され「住み心地の良いまち」の土台づくりに向けて整備されます。

## 令和8年度一般会計及び特別会計の当初予算

	予算		比較増減	増減率	基金(積立金)残高見込		町債(借入金)残高見込	
	令和7年度	令和8年度			令和7年度末	令和8年度末	令和7年度末	令和8年度末
一般会計	136億6300万円	135億5800万円	△1億500万円	△0.8%	55億9521万円	45億8822万円	175億9630万円	172億2474万円
国民健康保険	13億390万円	12億8900万円	△1490万円	△1.1%	6341万円	3879万円	0万円	0万円
直営診療所	1億4300万円	1億3730万円	△570万円	△4.0%	0万円	0万円	1億4056万円	1億2471万円
後期高齢者医療	4億4100万円	4億5100万円	1000万円	2.3%	0万円	0万円	0万円	0万円
電気通信	5億2700万円	3億9400万円	△1億3300万円	△25.2%	2億1638万円	2億926万円	11億63万円	11億2422万円
特別会計合計	24億1490万円	22億7130万円	△1億4360万円	△5.9%	2億7979万円	2億4805万円	12億4119万円	12億4893万円
総合計	160億7790万円	158億2930万円	△2億4860万円	△1.5%	58億7500万円	48億3627万円	188億3749万円	184億7367万円

## 令和8年度公営企業会計の当初予算

水道事業		予算		比較増減	増減率	企業債(借入金)残高見込	
		令和7年度	令和8年度			令和7年度末	令和8年度末
収益的収支	収入	3億7623万円	3億7791万円	168万円	0.4%	23億869万円	23億7798万円
	支出	4億508万円	4億1396万円	888万円	2.2%		
資本的収支	収入	4億2990万円	3億3733万円	△9257万円	△21.5%		
	支出	5億8500万円	4億9563万円	△8937万円	△15.3%		
下水道事業		予算		比較増減	増減率	企業債(借入金)残高見込	
		令和7年度	令和8年度			令和7年度末	令和8年度末
収益的収支	収入	7億6155万円	7億6655万円	500万円	0.7%	30億747万円	31億7789万円
	支出	7億6155万円	7億6655万円	500万円	0.7%		
資本的収支	収入	4億8160万円	4億84万円	△8076万円	△16.8%		
	支出	6億6674万円	6億190万円	△6484万円	△9.7%		

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

# 物価高騰対策

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金制度は、総額約2億円の割り当てがありました。

昨今の物価高に苦しむ町民への支援として議会から要望を出し、国からの推奨メニューも参考にしながら議論してきました。昨年末から好評で引き継いだものも含め、最終的に決まった事業を紹介します。

## エアコン等購入支援

昨年9月補正にて、家計支援と地域内消費の促進、猛暑対策、買い替えによる省エネ効果を見越し、エアコンと石油ファンヒーターの購入助成をしてきました。申請数エアコン125件、ファンヒーター36件と好評につき、1月補正でエアコン43件、ファンヒーター77件分を追加しました。この事業は2月末で終了しています。(7年度分)

## ICカード利用促進

昨年6月から9月に実施されたさくらカードの50倍

出抑制に期待し、テレビ、冷蔵庫、冷凍庫の買替えに補助します。省エネ基準達成率100%以上のもので、必要経費の4分の1を商工会の商品券で補助します。

今回は、町内だけでなく町外での購入も可能ですが、ネット販売や通信販売は対象外です。町内、町外で補助率、上限など異なるので、詳しくは町民課にご確認ください。

LED化補助

光熱費負担の軽減や二酸化炭素の排出抑制での環境保全の推進、また令和9年末には蛍光灯の製造、輸出入などが禁止となるのを見越し、町内事業者や自治会館、集会所などの照明のLED化を助成します。補助率は3分の1で上限30万円です。

## 人材確保支援

中小企業、小規模事業者の若年層の人材確保や賃上げ環境の整備、定住促進及び外国人材受け入れ推進のための支援です。20、30代の雇用保険加入

## 給食費補助

国からの学校給食費負担軽減交付金が、小学生一人あたり月額5200円支給されます。この基準額を超える額を物価高騰対応交付金で町が負担することで小学校は実質無償化となります。

中学校や石見養護学校中学部、高等部については食料費高騰分を物価高騰対応交付金で町が補助します。

## 図書館の充実

図書館の図書購入費を上乘せします。

物価高や近隣の大型書店の閉店により、書籍の購入を控える動きがあると見られます。生涯に渡り生活に潤いをもたらす図書館の充実を図ります。従来の予算に追加します。

## 省エネ家電買換え補助

エネルギー性能の高い機器に買い替える事で、光熱費の軽減や二酸化炭素の排



さくらカードを活用しましょう

# 請願・陳情

**地域運営組織が設立された地区の公民館体制（公民館主事）の継続について（請願）**

**採択**



**総務教民常任委員会  
奈須正宜 委員長**

この請願は、出羽自治会  
会長 木村浩善氏、井原自  
治会会長 林田知樹氏、ひ  
ぬい自治会会長 古田五二  
嗣氏の3自治会会長から提  
出されたものです。

町に対し地域運営組織が  
設立された地区の公民館体  
制（公民館主事）の継続を

求める請願です。当委員会  
では、提出者3名を参考人  
招致し、請願の趣旨と3自  
治会の実状を確認しまし  
た。

審査した結果、地域運  
営組織が軌道に乗るまで  
は、公民館主事を社会教育  
スタッフとして配置したま  
ま、地域運営組織がコミュ  
ニティセンターの管理・運  
営を受託し、連携して地域  
づくりと社会教育を一体的  
に実施する形がよいと考え  
ます。現段階では、各地域  
の実態を十分に把握せず拙  
速に打ち出されたものであ  
り、公民館主事を常駐させ  
ないことは時期尚早である  
と判断しました。

今後の公民館の在り方に  
ついては、教育委員会と協  
議しながら円滑な運営を求  
める意見を付して、全員賛  
成でこの請願を採択としま  
した。

**MRNAワクチン接種  
事業中止の意見書提  
出を求める陳情**

**不採択**

**総務教民常任委員会  
奈須正宜 委員長**

この陳情は、戸津川良氏  
から提出されたもので、国  
にMRNAワクチン（レプ  
リコンワクチンを含む）接  
種事業中止の意見書提出を  
求める陳情です。当委員会  
では、提出者を参考人招致  
し、陳情の趣旨を確認しま  
した。

また、本町保健課にも、  
予防接種制度やMRNAワ  
クチンについての説明を求  
め、当委員会で審査しまし  
た。

その結果、副反応疑い報  
告及び健康被害救済制度の  
審査状況の情報公開、ワク

チン接種の有効性とリスク  
双方についての情報提供を  
徹底するなどの趣旨は理解  
しました。

しかし、任意の判断によ  
り実施している予防接種事  
業の中止は、現時点では現  
実的でないとの判断し、全員  
反対でこの陳情は不採択と  
しました。

**政府に所得補償（直  
接支払い）制度の実  
現を求める請願**

**不採択**



**産業建設常任委員会  
山中康樹 委員長**

この請願は、邑南農民セ  
ンター代表 石橋博氏から  
提出されました。内容は、

農家の生産を下支えする価  
格補償、所得補償制度の確  
立を求める意見書を政府に  
送付することを求めています。

審査の結果、請願趣旨の  
文面に「前政権は農政の誤  
りを認めた、高市政権は需  
要に応じた生産量へ逆戻り  
した」とありました。

委員会としては、個人名  
での批判を載せたまま意見  
書を提出することは好まし  
くないとの意見がありまし  
た。また、価格補償や所得  
補償制度の実現を求めるこ  
とには同感ですが、具体的  
な補足説明が必要であると  
いう結論に至りました。

結果、全員一致で不採択  
とし、委員会として請願者  
の願意を取り入れた意見書  
を提出することとしまし  
た。

# 意見書

農業の再生と所得補償制度等の実現を早期に求める意見書

産業建設常任委員会

山中 康樹 委員長

町民から提出された請願を審査する過程で、国への要望が必要であると委員全員の意見が一致し、以下の点を要望する。

- ①生産コストと販売価格の差額を補填することを基本とした、実効性のある所得補償制度を速やかに法制化すること。
- ②持続可能な社会の実現に資する農業に取り組む農業者については、適切な評価と環境直接支払いなどが受けられる制度設計とすること。
- ③小規模から大規模経営まで、多様な担い手の声が反映される仕組みを構築すること。

国民に対しMRNAワクチン関連の正確な情報周知を行うことを求める意見書

総務教民常任委員会

奈須 正宜 委員長

町民から提出された、陳情を審査する過程で、副反応や後遺症がある実態を理解した。これについて、町民の不安を解消するため、国においては以下の点に取り組むよう強く要望する。

- ①MRNAワクチンに関する副反応疑い報告及び健康被害救済制度の審査状況について、透明性の高い情報公開を一層推進すること。
- ②長期的影響を含めた科学的検証および追跡調査体制を強化すること。
- ③定期接種の実施にあたっては、接種の有効性とりスク双方について、国民に対し中立的かつ分かりやすい情報提供を徹底すること。

竹島の領有権の早期確立に関する取組の強化と特別措置法の制定を求める意見書

平野 一成 議員

竹島問題は、国家の根幹に関わる事案であり、一刻も早い領有権の確立を国に求める。

- ①竹島問題の解決の促進及び領有権の早期確立に向けた取組みを推進するため、北方領土の特別措置法に準じた法的枠組みの速やかな整備。
- ②同法において、隠岐諸島及び島根県全域を竹島問題の「隣接地域」として位置づけ、広報啓発活動や不法占拠により影響を受けている地域の産業振興や基盤整備を国の責任において強力に推進すること。

# 討論

令和8年度一般会計予算

反対

日高八重美 議員

7年度の物価高騰対応臨時交付金の使途は、町民からの評価を得ていないと考える。8年度は、全世帯を対象に生活に密着した施策も視野に入れて検討すべきと考え反対する。

賛成

宮田 博 議員

一般会計の予算規模は7年度に続き縮小している。しかし、限られた財源の中でも町民のニーズに配慮する事業が反映されており賛成する。

賛成

山中 康樹 議員

厳しい財政状況でも必要な予算を確保し、経済循環や事業者応援、農業農村の課題解決のための予算が計上され、将来を見据えた予算になっており賛成する。

令和8年度邑南町国民健康保険・後期高齢者医療事業特別会計予算

反対

日高八重美 議員

「子ども・子育て支援金」を徴収する内容が含まれており反対する。

賛成

中村 昌史 議員

地域医療の確保、住民の健康保持に貢献できるものであり賛成する。

## 特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定

**反対**

日高八重美 議員

「子ども誰でも通園制度」は、利用時間の制限や職員への負担も大きいなど実施には課題もあるため反対する。

**賛成**

奈須 正宜 議員

子どもが健やかに成長するために、適切な環境が等しく確保されることを目的としている条例であり賛成する。



討論を行う議員

## 政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を 求める請願

**賛成**

日高八重美 議員

所得補償は、農家を下支えする重要な制度であり、農業と農山村の再生、食料自給率向上のためにも採択すべきである。

**反対**

瀧田 均 議員

願意は理解できるが、地方議会として政党、個人名を批判する内容のものを採択することは好ましくない。よって本請願には反対する。

## 竹島の領有権の早期確立に関する取組の強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出

**反対**

日高八重美 議員

日本共産党は、竹島に対する日本の領有権の主張は認めている。しかし、日本が竹島を編入した1905年という時期が韓国の外交権を奪っていた過程であり、まずは外交交渉を行うための土台を作る必要がある。日本政府に対し一方的な施策を図るよう意見書を提出することに反対する。

**賛成**

鍵本 亜紀 議員

竹島は、国際法的にも疑いのないわが国固有の領土である。しかし、韓国による不法占拠が今日まで続いており、わが国の主権が著しく侵害されている。竹島問題の解決促進のために、北方領土における特別措置法に準じた法律の早期の制定と、平和的解決を求めるものであり意見書の提出に賛成する。

## 期末手当の 月数を復活

議員の期末手当の年間支給月数は、平成21年当時、リーマンショック後の深刻な景気後退により民間のボーナス支給額が大幅に減少した際に、これに準じて3・35月を3・25月に減じていました。

その後の日本経済は、平成22年の東日本大震災の影響による落ち込みもありましたが、平成25年ころから緩やかな回復局面に入っています。

しかし、支給月数はそのまま継続していました。今回、これを元の支給月数に復活しました。

2月16日に開催された「邑南町特別職報酬等審議会」に諮問され、支給月数の復活を認める答申がなされています。

# 1月臨時会 議案の ゆくえ

1月臨時会を1月20日に開き、町長提案の議案1件を可決しました。

「令和7年度一般会計補正予算第10号」は、物価高騰対応重点支援地方交付金を活用し、エアコン等購入支援事業第2期として211万円と、8年度に実施予定の第2期ICCカード利用促進事業の準備事務費88万円の追加、及び7095万円の債務負担行為の設定です。

カードの利用の利便性に地域差があり、公平性に欠けるとして日高八重美議員が反対討論を行いました。対して、生活者支援、消費の地域内循環の観点から平野一成議員が賛成討論を行いました。

# 3月定例会 議案の ゆくえ

令和8年度予算以外の議案の主なものを紹介します。

「人事案件」は、人権擁護委員候補者の推薦と、農業委員会委員の任命同意です。

「国民健康保険直営診療所条例の一部改正」は、井原診療所を廃止です。

「高齢者等介護予防生活支援事業費用徴収条例の一部改正」は、生活管理指導短期宿泊事業と食の自立支援事業の費用の増額です。

「特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の利用者負担に関する条例の一部改正」は、保育所利用者負担額の全額免除です。

「自治会館、多目的集会所及び農村公園条例の一部改正」は、久喜多目的集会所の閉鎖です。

「いづいの村しまね条例の一部改正」「いわみ温泉活用施設条例の一部改正」「農林漁業体験施設条例の一部改正」「香木の森公園条例の一部改正」は、利用料金の上限を定め、指定管理者がその範囲内で料金を設定します。

「研修施設条例の一部改正」は、「邑学館」「邑咲館」の利用月額を増額するものです。

「学校給食費条例の一部改正」は給食費を増額するものですが、4ページで紹介したように、小学校では実質無償となります。

「瑞穂ハンザケ自然館条例の一部改正」は、上田所観察施設を廃止するものです。

「職員の旅費に関する条例の全部改正」「特別職の職員で常勤のもの給与及び旅費に関する条例の一部改正」「特別職の職員で非常勤のもの報酬及び費用弁償に関する条例の一部改正」は県の規定に準じて旅費規定を見直すものです。

「消防団員等公務災害補償条例の一部改正」は、災害補償額の増額です。

「特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定」は、ことも誰でも通園事業の実施に関する基準を定めるものです。

「第3次総合振興計画の策定」「過疎地域持続的発展計画の策定」は、議会基本条例で定める議決を要する諸計画の一つです。

「指定管理者の指定」は、28施設の指定管理者を指定するものです。

「令和7年度一般会計補正予算第11号」は、事業確定に伴う増減で、脱炭素先行地域づくり事業費が4億1900万円の減額となり、議会からは今後の運営について懸念が示されました。また、地方交付税が増額され、財政調整基金繰入が減額されました。

「特別会計補正予算」は、事業確定に伴うものが主です。

## 三階席

久しぶりに一般質問をせず令和8年度の予算や事業を検証してみた▼予算化された国の物価高騰対応交付金による事業には議員の中にもさまざま異論も出たが、町内への還元と還流を促す狙いに賛同できるものであった。また、現状継続に収まった議論白熱の公民館主事の配置は、地域ごとの事情も異なるうえに行政効率からして将来的に見直しも必要かと考える▼その他、町が絡む新電力会社「おななきらりエネルギー」の脱炭素事業の不振、保育士不足に起因する保育所の統廃合や高齢者福祉サービスの再編、財政難による補助金の削減や廃止など厳しい現実がある。とはいえ、不安定な世界情勢と比べればまだたやすい苦悩だ。みんなで力を合わせて町を守っていきましょ。

(辰田)

### 1 月定例会 全員賛成にならなかった議案

○=賛成、●=反対、- =除斥、欠=欠席

区分	議案の内容	石國	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	宮田	中村	辰田	山中	結果
予補算	令和7年度一般会計補正予算第10号	○	○	欠	○	●	○	○	○	○	○	○	可決

### 3 月定例会 全員賛成にならなかった議案（請願・陳情）

区分	議案の内容	石國	奈須	鍵本	野田	日高	瀧田	平野	宮田	中村	辰田	山中	結果
請願 陳情	政府に所得補償（直接支払い）制度の実現を求める請願	欠	●	●	●	○	●	●	●	●	●	●	不採択
	mRNAワクチン（レプリコンワクチンを含む）接種事業中止の意見書提出を求める陳情	欠	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	
条例	特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	可決
当初 予算	令和8年度一般会計予算	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度国民健康保険事業特別会計予算	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
	令和8年度後期高齢者医療事業特別会計予算	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	
発議	竹島の領有権の早期確立に関する取組の強化と特別措置法の制定を求める意見書の提出	欠	○	○	○	●	○	○	○	○	○	○	

### 令和7年度1月、3月補正

	当初予算の額	12月補正後の額	1月補正額	3月補正額	3月補正後の額
一般会計	136億6300万円	138億4284万円	2158万円	△6億4262万円	132億2180万円
国民健康保険	13億390万円	13億3107万円	-	1092万円	13億4199万円
直営診療所	1億4300万円	1億5053万円	-	△1093万円	1億3960万円
後期高齢者医療	4億4100万円	4億5610万円	-	-	4億5610万円
電気通信	5億2700万円	5億6211万円	-	△3085万円	5億3126万円
特別会計合計	24億1490万円	24億9981万円	-	△3086万円	24億6895万円
総合計	160億7790万円	163億4265万円	2158万円	△6億7348万円	156億9075万円

※千円以下で四捨五入しているため実際の数字と差異が発生しています。

※事業会計の補正はありませんでした。

# いっぱん

# 質問

## 質問者と質問内容

順番	議員名	質問内容	ページ
1	奈須 正宜	(1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (2) コミュニティ・スクール	11
2	宮田 博	(1) 水道事業、下水道事業	12
3	日高 八重美	(1) 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 (2) コミュニティ・スクール (3) 横断歩道の整備	13
4	中村 昌史	(1) 情報共有のあり方	14
5	鍵本 亜紀	(1) 給食費の考え方 (2) コミュニティ・スクール (3) 協働のまちづくり	15
6	野田 佳文	(1) マイナンバーカード更新支援体制 (2) ふるさと教育と有害鳥獣対策 (3) SNSを活用した情報発信	16

一般質問とは・・・議員が町の行財政全般について、執行機関に疑問点をただし、所信の表明を求め  
るもの。通告制であり、本町では一問一答方式、制限時間60分としている。

## ガツテン!! 一般質問

邑南町では、一般質問を生放送していますので質問者も答弁者も発言には気をつけています。個人への批判的発言や身体などを含めた差別用語、公共放送の電波を利用した特定の宣伝などは禁止されています▼議長は、質問者、答弁者の言葉を常に聞き落としのないよう気をつけなければなりません。不穏当な発言、不明な発言があった場合は議長は発言を止めることができます▼議員にとって一般質問はかなりストレスになります▼一般質問は基本的に定例議会のみで認められています▼緊急性があり議長が許可した場合は閉会中でも文書での質問が認められています。その内容も議会広報でお知らせします▼議員の奮闘にご期待下さい。

(山中)

なすまさよし  
奈須正宜 議員

# 物価高騰事業の公平性は

## 町長 バランスを取りながら活用

奈須正宜議員

物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金による事業決定の基準やプロセス、選定におけるデータ、住民ニーズに基づく優先順位は。

白須副町長

配分された2億944万3000円を元に、物価高に苦しむ町民の家計支援、事業者応援、地域内消費促進を基本的な考え方とした。検討プロセスとして、各課が物価高騰の影響や困り事を把握し、事業提案を検討した。毎月の課長会議や町長・副町長・教育長による三役会議で基本方針を

定め、担当課が制度設計を進め、最終的に町長が決定した。住民ニーズの把握については、議会からの事業提案も参考にした。

奈須議員

エアコン等購入支援、中学校給食費、ICカード利用促進、省エネ家電買替え促進事業について、支援対象外となる世帯の公平性を問う。

白須副町長

事業の性質上、全町民が一律に恩恵を受けられるものではないが、生活者・事業所支援、町内循環、費用対効果などを総合的に考慮して支援している。

大屋町長

中学校給食費は保護者負担をお願いしている。今年度の予算のテーマである「やさやかな合理的配慮」と「一定の町民負担」の考えに基づいている。2億円を超える予算を、町民や事業者を含めた物価高騰対策として全体的にバランスを取りながら活用している。また、省エネ家電買替え

促進事業は、利便性の範囲の中で、テレビ、冷蔵庫は、買い換えると省エネ効果はどのくらいあるのかが分かりにくい。が、まず促進をしたということ、町外と広島県を含めて、提案している。

奈須議員

事業が町の特性を踏まえた独自の支援になっているのか、国の交付金メニューをなぞるだけになっていないか、単年度の給付にとどまらず持続可能な地域支援策への視点についての考えは。

大屋町長

単なる支援で終わらせず、地域課題の解決や政策誘導につながるよう、交付金以上の効果が出ることをめざしている。公平性については、基本的には「手挙げ方式」の中で対象になると考えている。子育て世帯、県の低所

得者対策を全て踏まえた中でしっかり考えている。データが十分ではない中でICカードの活用が3回目であることや、中小企業の支援実績などを参考に、地域の応援、事業者応援を継続していきたい。

### その他の質問

奈須議員は、この他にもコミュニティ・スクールの形骸化や役割について質問し、教育長から、子どもを真ん中に据えた当事者意識を持つて、ともに育んでいきたいという心を作っていたいと答弁がありました。



中学生になる子どもたち

# 水道・下水道事業の 現状と将来は

みやた ひろし  
**宮田 博** 議員



## 課長 適切な施設規模への計画が必要

**宮田博議員**

水道事業・下水道事業の広域化・共同化への持続的運営をするため、国の対応方針を受けた島根県の対応状況、並びに本町と近隣市町村との対応状況はどうか。

**三浦水道課長**

水道事業は、8年度から経営の一体化による組織統合の検討を開始する予定であり、下水道事業も、今後人口規模や将来見通しを踏まえ、適切な施設規模とする計画が必要となる。

本町では、市町村を越えた計画は無いが、県内では、自治体を越えた処理施設の

統合や、汚泥処理の共同化計画はある。

**大屋町長**

人口減少下での対応を、県は、県全体で一事業との考え方であり、町としては、施設の統廃合等、さまざまな検討を要する事項である。

下水道事業は、処理量の減少で施設のダウンサイズ等、総合的な判断のなかで、整理しなければならない。

**宮田議員**

下水道事業については、「邑南町水道事業ビジョン」を全面的に見直して、厳しい事業経営を予測しているが、次の3点について問う。

①給水収益の減少と計画的な設備投資、②業務改善による効率性の向上、③業務の委託化等経費の低減策について問う。

**三浦水道課長**

①については、給水人口の減少に伴い、収益が減少する反面、設備の老朽化等に伴う多額の費用を要することから、計画的な設備更新を実施し、財政状況を勘

案しながら水道料金の適正化に取り組む。

②については、利用者ニーズ把握により、施設の統廃合、再構築による効率化、電子化による遠方監視等、業務の改善や効率性の向上を図る。

③については、近隣の水道事業体との広域連携活動を進めながら、システム等の共同利用、資材の共同購入等の検討をし、経営の効率化をめざす。

**宮田議員**

下水道事業については、「邑南町下水道事業経営戦略」を示し、経営の健全性は、類似団体と同水準で著しく課題はないとしているが、経費回収率は適正水準を大きく下回る状況である。

また、繰入金、余剰施設はどのように縮小するのか。

**三浦水道課長**

健全性は、同様の課題を抱えている類似団体と同水準であり、著しく課題がある状態ではないと記載したものであり、経費回収率は独立採算の原則数値を下回っている。人口減少により更に低下が予想されるが、段階的に使用料の改定を検討し、持続可能な事業運営に向けた経営改善に取り組み、繰入金の縮小する努力、施設規模縮小の検討を要する。しかし、規模の減少縮小の方法としては、ダウンサイジング等による対応を基本として検討する。



上田所浄水場

ひだかやえみ  
日本共産党 日高八重美 議員

# 臨時交付金の活用は平等か

## 町長 状況に応じた平等な支援だ

日高八重美議員

令和7年度に実施した物価高騰対応における臨時交付金の活用について、1期目のエアコンと石油ファンヒーター購入助成事業の評価について尋ねる。また、2期目の省エネ家電買替えに補助する意図は何か。

小笠原産業支援課長

国が示す推奨メニューの一つであり、生活者への支援、事業者支援を目的としている。当初予定をしていた件数を越える申し込みがあり、事業を1か月間延長した。地域内消費の喚起、町内事業所への支援は達成できた。



消えている横断歩道

秋田町民課長

地球温暖化対策に取り組むことも地域課題の一つである。省エネ家電に切り替えることでCO2の削減になる。

日高議員

家電製品は高額である。買い替えたくてもできない人がいる現状をどう捉えているのか。

大屋町長

購入すると商品券での還元はあるので、買い替えるきっかけにしてほしい。子育て世帯や低所得世帯には県からの助成もあるので、状況に応じて負担なく平等な支援になっている。

日高議員

さくらカードの会員は、

人口に対して羽須美・瑞穂地域では61%、石見地域では74%だ。今回も50倍ポイント付与事業だが、カードを持たない町民には生活支援にならないのではないのか。

大橋教育長

学校運営協議会の人選は、教育委員会で承認後に委嘱する。運営要綱についても教育委員会に諮るよう準備している。スタートについては、地域によってタイミングが変わるかもしれないが、8年度中に立ち上げることに変わりはない。

小笠原産業支援課長

さくらカードの保持には、制度の周知や取得しやすい環境に努め、多くの方に利用していただきたい。

日高議員

さくらカードを保持するかしないかはそれぞれの思いがある。

事業の実績をまとめる際には、地域ごとに町民の声をくみ取って評価していただきたい。

問

コミュニティ・スクールの準備は

日高議員

学校運営協議会の人選や、運営規定、要綱はできているのか。

スタートできる状況にあるのか。

答

準備している

### その他の質問

日高議員は、特定乳児等通園支援事業の運営に関する基準を定める条例の制定、横断歩道の整備について質問しました。

なかむらまさふみ

中村昌史 議員

# 情報共有はできているか

## 町長 課題、問題の共有が必要



中村昌史議員

情報共有という観点から3項目を問う。

最初に、保育所の再編について問う。2月4日の全員協議会で初めて再編の考えを聞いた。少し唐突な感を持つた。民設民営であっても、保育の確保について行政の責任は、大きい。運営されている法人との連携はできているのか。

坂本医療福祉政策課長

法人と連携しながら、保育の質と量の確保に努めている。

中村議員

再編についての話が出たのはいつごろからか。

白須副町長

昨年の春ぐらいから、法人と協議をしてきた。

中村議員

もう少し、情報の共有を早い時期でできなかったのか。学校再編の議論とあわせて、考えることはできないか。

大屋町長

保育の確保と、学校教育の考え方とは違つところで、しっかり議論ができればいいと思つている。

中村議員

次に、公民館について問う。町政運営説明会で示された、公民館主事の提案は唐突だった。これは、町長の方針変換で終わりということではない。今後の公民館のあり方、公民館主事と地域マネージャーの役割といった議論が必要だ。そこで、公民館の多機能化について共通認識が持てているかを問う。

田村学びのまち推進課長

公民館条例の使用制限の中であれば、多機能な活用が可能である。



再編が議論されている保育所

田村地域みらい課長

公民館多機能化は、持続可能な地域づくりを推進するための重要な視点である。

今後は、社会教育に加え、地域運営組織との協働による、地域課題の解決拠点としての機能を強化できるものと考えている。

中村議員

多機能化が進んできたときには、それぞれの機能の事務局が、そこに入ることになる。多機能化に合わせて、そこに配置する人材についても、あわせて考える必要がある。

次に、「コミュニティ・スクールについて問う。延期した1年間で、町民の皆さんの関心はどう変わったと捉えているか。

大橋教委長

どこまで浸透したのかは把握をしていないが、できる限りの情報は提供している。まだまだ成熟の域には達していないが、引き続き協力をいただきながら、支えていく形をつくり上げていこうと思つている。

中村議員

教育委員会の認識と、我々の認識に少し差異があるように思う。これは議会と執行部との間での情報の共有がなされていないからではないか。町長の所感を問う。

大屋町長

情報は共有していたが、その先の課題が共有できてなかったと思う。お互いに課題、問題を共有した中で進めないといけない。改めて、問題提起し、議論できるようにしていきたい。

かぎもと あ き  
**鍵本亜紀** 議員

## 中学校の給食費も無償化を

### 町長 その先になにがあるのか

**鍵本亜紀議員**

小学校は国の支援等で給食費が完全無償化されるが、同じ義務教育である中学校では保護者負担が残る。「日本一の子育て村」をめざす本町において、子どもは未来そのものであり、投資するべきだ。なぜ中学校まで無償化にしないのか。

**大屋町長**

中学校については、これまで通り食料費の負担をお願いしたい。小学校は国が示す基準額の不足分を町が補助することで完全無償化を実現したが、町としては財政全体で考えている。

**鍵本議員**

図書購入費の上乗せなども行われるが、本と給食、どちらが優先か。大人になるまで継続的な支援と言っている中で、中学校で支援が一旦途切れる。町の子ども条例では生命や発達の権利をうたっている。整合性は。

**大屋町長**

本町では保育料の第1子も無償化や、瑞穂中に教育支援センターの設置、小学校のトイレの洋式化、防犯対応など、学びと生存権を包括的に保障している。給食費についても経済的に困難な世帯には就学援助があり、公平性は保たれている。他自治体との違いは、目の分かりやすさか、長期的視点で必要な支援を行うかの違いだ。

**鍵本議員**

隣の川本町は中学校も無償であり、支援の手厚い隣町へ移住する世帯もある。「移住者を呼びこめる支援」として無償化が必要ではないか。

**大屋町長**

郡内で人口を取り合っても仕方がない。目先のアピールではなく、町の考えに基づき施策を進める。本町は多子世帯が多く、小学校の無償化だけでも大きな負担軽減になる。むしろ、給食費無償化の先にどのようなメリットがあるのか、逆に伺いたい。

**鍵本議員**

食を保障することは、町が子どもを大切に思う姿勢の表明であり、親の負担軽減に直結する。財源があれば無償化する意思はあるか。

**大屋町長**

財源の問題だけではない。他の施策を削ってでも、それを最優先で応援すべきかどうかという判断だ。

**問** 町民との信頼関係は

**鍵本議員**

住み心地の良いまちをめざすには、町民との信頼関係が最重要だと思うがどうか。

**答** 結果が信頼関係につながる

**大屋町長**

色々やっている事を指摘されるが、着実に成果を出しながら判断していく中で、最終的に信頼関係が得られればよい。目先のことに捉われずやっていく。



地域で見守る子どもたち

の だ よ し ふ み  
**野田佳文** 議員

# マイナンバーカードの更新支援は



## 課長 対応を研究する

**野田佳文議員**

マイナンバーカードの更新時に自宅訪問を行っている自治体もある。今後の支援体制のあり方を整理し、合わせて整備を進めて行く考えは。

**秋田町民課長**

外出が難しくなった町民の皆さんへの今後の対応、支援体制については、マイナンバーカードのみに限らず、他の手続への対応も踏まえ研究する。

**野田議員**

観光面だけではなくタグ等の使い方で、移住定住対策にもつながる。インスタグラムの方針は。

**小笠原産業支援課長**

邑南町の魅力の掘り起こし、継続的に情報発信を行うことで、誘客の促進につながる。

**植田情報みらい創造課長**

観光イベント情報の発信に加え、定住対策などにおいても、タグの戦略的な活用や他の媒体との相互誘導により、情報の相乗効果を生み出す仕組みを構築する。

**問** Tik Tokの活用を

**野田議員**

より幅広い年齢層に町の魅力を発信できるTik Tokの活用を。

**答** 検討する

**小笠原産業支援課長**

先進事例も参考にしながら、媒体の特性や運用体制を十分に研究し、観光振興にとって効果的な情報発信について検討する。

**野田議員**

YouTubeの今後の方針は。

**植田情報みらい創造課長**

ケーブルテレビと協議連携をし、放送番組で二次利用できるように動画についてはコンテンツとして活用する。

**野田議員**

インスタグラムにアップしている動画をショート動画としてYouTubeにアップすることは可能だ。  
**植田情報みらい創造課長**  
関係各課、関連団体との協議後になるが実現は可能だと考える。早速取組みを開始できる動画からアップする。

**野田議員**

X(エックス)の今後の方針は。  
**植田情報みらい創造課長**  
ホームページの更新に合わせて、Xを含めた各SNS



成果を上げている公式Instagram

**その他の質問**

**野田議員**はその他に、ふるさと教育と有害鳥獣対策について質問しました。

Sの相互連携や画像貼付などが円滑にできるようなシステムを構築する。同時に、全職員を対象とした操作またはSNS上の情報発信の研修などを行い、職員一人ひとりが広報担当者という意識を持つように取り組む。

## 産業建設常任委員会

### 福岡県うきは市・福智町を視察

令和8年1月27日（火）～28日（水）に視察研修を行いました。

うきは市『道の駅』年間売上13億円以上！人気を維持する取組みを探る

うきは市は農業産出額に占めるフルーツの割合が約34%と高く（全国平均約9%）、『フルーツ王国』とし

ての強みを道の駅でも発揮しています。

一番人気のぶどうは55品種と豊富で、多様な商品を探求してリピーターが多いことが特徴です。出荷者は700人弱で、出荷組合の各部会（全9部会）に対す

る報奨金制度を設定し、売上目標に達した部会に対し奨励金を支払っています。出荷率の維持や向上を図り、地域の強みを活かした仕組みづくりは、本町においても参考になる取組みでした。

#### 福智町

年間約56億円！ふるさと納税の取組みを学ぶ

年間約56億円のふるさと納税を集め、返礼品は

600品目以上におよびます。上位5位は全て食品で、リピート率は47%以上と高水準を維持しています。中でも県産品のもつ鍋が人気を牽引、町内産ハンバーグはレビューを基に改良を重ね、着実に評価を高めています。寄付者の声への丁寧な対応や市場動向の把握がリピート率の向上につながっています。また、生産者説明会の開催により生産者と良好な関係構築が図られています。

#### 観光について学ぶ



## 総務教民常任委員会

### 中国四国厚生局、地方運輸局を訪問

令和8年2月20日（金）広島市にある両局を訪問し、地域の実情に応じた支え合いの施策や交通空白の取り組みについて意見交換を行いました。

#### 地域包括ケアシステムの推進

高齢者が住み慣れた地域で自分らしい暮らしを続けられるよう、医療・介護・予防・住まい・生活支援を

一体的に提供する地域包括ケアシステムの推進が進められています。2040年

に向け、地域の実情に応じた体制整備や人材確保、介護基盤の深化が求められています。

#### 「交通空白」

#### 解消への取組み

中四国厚生局と中国運輸局が連携協定を締結し、福祉と交通の連携による「交通空白」解消の取組みが進

められています。地方運輸局等による首長訪問や事業者との橋渡し、伴走支援、制度や事例の情報提供、実証に向けた財政支援などが柱です。

さらに官民連携や共同化、観光との連携も視野に体制強化が図られています。

また、参考事例を多数紹介していただき、本町でも活用できる事業について検討し、提案していきたいと思っております。

#### 厚生局局長に挨拶をする委員長



3月議会では、委員会・本会議等で23名の傍聴がありました！  
その中で、一般質問を傍聴された4名の方に感想を伺いました。

◆地域運営組織については、先進地区の現状調査をし、準備している地区に反映してほしい。また、地域運営組織をどういう目的で設立するのかがもっと地域住民との話し合いが必要で世代別でも要望を聞いてほしい。

◆全体的な印象だが、執行部と議会側との緊張感が薄く感じられた。議員は自分の立場でインパクトのある発言が必要ではないか。

## 傍聴席の声

◆議場の執行部席に課長の代理で着席される場合は、課長が退職されたのかと誤解する場合があるので議長から傍聴者に対して一言伝えてほしい。

◆議員はもっと強く主張してほしい。

◆執行部は質問に対して的確な答弁が必要。前もって準備した原稿ではピントがずれた感じがする。その場で問われたことは一番大事なことになるので、それに応える姿勢が必要ではないか。



今回は創政会の4名の方に感想をお聞きしました。  
貴重なご意見をありがとうございました。

祝

# 自治功労者表彰

今年、5名の議員、元議員が島根県町村議会議長会会長から勤続12年の表彰を受けました。



宮田 博 議員



漆谷光夫 議員



和田文雄 元議員



瀧田 均 議員



平野一成 議員

## 新しい事務局人事

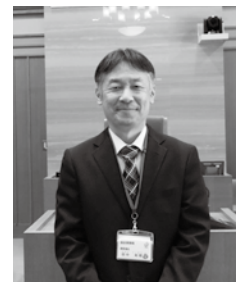


これからもよろしくお願いします

議会事務局職員の人事異動があり、田中利明補佐はこのたび退職いたしました。

後任は、阿須那公民館から日高幸男係長が着任します。

邑南町議会が邑南町民及び邑南町にとって最善の意志決定ができるよう、職員一丸となって取り組めますのでよろしくお願いします。



お疲れさまでした

### 議会の傍聴にお越しく下さい

6月定例会は、6月2日からの開催を予定しています。一般質問だけでなく、全員協議会などすべての議事が傍聴できます。お気軽にお越しく下さい。

お問い合わせ先  
議会事務局

TEL : 0855-95-1113  
I P : 050-5207-3021

### ご意見をお寄せください

この広報に限らず、議会のことについてご意見、ご質問などがございましたら、お気軽にご連絡ください。

### 広報公聴常任委員会

委員長 日高八重美  
副委員長 石國佳壽子  
委員 中村 昌史  
瀧田 均  
鍵本 亜紀  
奈須 正宜



このQRコードからスマホでもご意見が寄せられます

# 自然とともに生きる

あなたの  
**声**

やそや  
田舎体験宿 八十八



八十八のInsta

やまね  
日和地域 山根 みゆきさん



愛犬と山の中で

田舎体験宿「八十八」を営む山根みゆきさんに自然と共に生きる暮らしについて伺いました。

Q. 猟師になろうと

思ったきっかけは？

約10年前、故郷・日和へUターンし会社員として働く中で、父の生き方に改めて向き合いました。自然とともに生き、山に入る姿に強く惹かれ、「自分もこうありたい」と思ったことがきっかけです。

Q. 猟師になってみて

いかがですか？

山で獣と対峙する緊張感は今も変わらず、常に恐れと隣り合わせです。体力面での苦労もありますが、命と向き合う仕事には大きな意味があります。子どもた

ちと作業をする

中で、命の重みや食の背景、働くことの価値を伝えられる時間にやりがいを感じています。

Q. なぜ田舎体

験宿「八十八」

を運営しよう

と思ったので

ですか？

猟を続ける中

で、「駆除」ではなく「命をつなぐ」という意識が強まりました。捕獲した獣を自ら加工し食として届けるとともに、シビエの魅力や里山の暮らしを伝え、人が集い語らえる場をつくりたいと考え、宿の運営を始めました。

Q. 今後の展望や夢を

教えてください。

里山の荒廃や人と獣のバランスの崩れを感じる中、仲間とともに環境を守り次世代へつないでいきたいです。地域の知恵や技術を伝えながら、鹿肉をはじめとするシビエの魅力を広く発



フレッシュ日和の会のメンバーと

信じていくことをめざしています。

今回の取材を通じて、山根さんの「故郷への想い」と、「命をつなぐ」ことへの強い信念を感じました。

山根さんが手がけるシビエは、町内の道の駅邑南の里や垣崎醤油店でも購入可能です。ぜひ一度、味わいと背景にある物語に触れてみてください。

田舎体験宿「八十八」  
【070-7775-3348】まで。

聞き手 奈須 正宜

## 編集室の窓



春の選抜高校野球での、神村学園ライトの守備者が印象に残っている▼攻撃中ランナー2塁でライト前ヒットとなったところで、前に出て球を受け一気にホームベースへ好返球したのである。普通なら楽勝でホームインだが、間一髪のタイミングでタッチアウトとなったのである▼残念ながら1対1の同点となり、延長戦の結果1点差で智弁学園が勝利した▼ファイナルプレーを生んだのは、日頃の厳しい練習と、瞬時的確な判断がこのプレーをもたらした▼将来、神村学園のライトが、どこかの球団で活躍することを祈っている▼私たち一同も、このライトの選手と同じように、議会においても日頃からの議員力、議会力を高め、この厳しい状況を乗り切っていくことが求められる。

(瀧田 均)